

令和8年度 牧之原市立(勝間田小)学校 学校評価

校長名

藁科昌樹

1 昨年度の成果と課題

○温かく聴く、話すなどの授業規律が定着している。
○何事にも一生懸命取り組む姿が見られる。

●授業でよりよい考えを生み出すところまでは至っていない。
●自分から動き出す場面が少ない。

2 本年度の基本方針(経営の重点)

(授業) 教師が魅力的な学習課題を設定する。(問いや思いを持ち、課題解決できる子の育成)
(生徒指導) きらりを伝えて、自己決定できる場を設定する。(自信を持ってチャレンジする子の育成)
(小中一貫) ころざしを育てる
(地域連携) 学校と地域が力を合わせて学校の運営に取り組み、「地域とともにある学校づくり」を目指す。

3 具体的な取組

	目標	具体的な取組	成果目標	評価	成果と課題
授業	教師が魅力的な学習課題を設定する。(問いや思いを持ち、課題解決できる子の育成)	<ul style="list-style-type: none"> 魅力的な学習課題の設定のための校内研修の充実 教師内での月1学習会の設定 授業を見合う会の設定 			
生徒指	きらりを伝えて、自己決定できる場を設定する。(自信を持ってチャレンジする子の育成)	<ul style="list-style-type: none"> 個人の目標設定と振り返りの場の設定 全校での話し合い活動の充実 きらりカードの励行 きらりな自分シートで自分のよさを再認識する。 			
小中	榛原中学校区連携構想をもとに、小中一貫教育目標の達成を目指す。	<ul style="list-style-type: none"> 自己決定の場の確保 			
地域	学校と地域が力を合わせて学校の運営に取り組み、「地域とともにある学校づくり」を目指す。	<ul style="list-style-type: none"> 地域人材の積極的な導入 			